

令和6年度 保育学科 実務経験のある教員による授業科目一覧

東筑紫短期大学

一覧

授業科目	担当教員	単位数	授業の概要（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
美術	都留 守	2	「対話による美術鑑賞」と「表現活動」を一体化した授業です。この演習では、公立学校教諭・北九州市教育委員会指導主事としての職務経験を有する教員が、公立学校での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。『見つめる感じる考える Watch Feel Think』の活動から生まれた各自の意見を交流し合うことで、芸術作品のテーマや作者の思いに迫り、自己の価値観を高め・深め・広げる鑑賞を行います。意見の交流を通して、自己の相対比や他者理解が促されます。学習者が発見し関心をもった課題を全員で考え、共同で知識を構成していく授業です。そして、鑑賞活動を通して得た感動や学びをもとに自由に自己表現します。
教育原理	浦田 一幸	2	今、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ保育者が求められている。そのため、保育者には、そのような教育実践ができる高い専門的力とそれを支える豊かな人間性や確固とした教育理念が必要となる。そこで、教育原理の授業では、教育の意義や目的及び子ども家庭福祉等のかかわり、教育思想と歴史の変遷、基礎理論、教育制度、生涯学習の現状と課題を学ぶ。授業は、長年北九州市立小学校の校長を務め、地域での人権啓発活動に取り組んできた教員が、グループワークや発表、グループディスカッションなどを取り入れたT・T（ティーム・ティーチング）授業を展開する。それにより教育について幅広い視野を養い、基礎的な知識を身に付け、考える力を育てることを目指す。
特別支援教育概論	山田 幸代	1	「発達障害」と診断された幼児・児童生徒のみならず、その疑いのある幼児・児童生徒は一般の保育現場および通常学級にもかなりの割合で在籍している。さらに「特別の支援」という概念を広げるならば、すべての幼児・児童生徒がそれぞれ「特別な支援を必要とする子どもたち」であると考えられる。本講は、臨床心理士として、特別支援教育の黎明期から特別支援学校や自閉・情緒の通級、固定級等で実務を担い、北九州市教育委員会における特別支援教育プログラムなどを策定してきた教員が、発達心理学、対人心理学、知能心理学の視点から、幼児・児童生徒の自己実現を支援する方法を講義および演習で学ぶことを目的とする。
保育指導論	吉田 千津子	2	指導とは幼児を好ましい方向に導く総合的な捉えや行為である。そのことは保育者の大きな役割であり、保育者自身の保育観・資質によって幼児の育ちが変わってくる側面をもつことを理解しておく必要がある。1年次で習得した教育方法とこの講義では、幼稚園や認定こども園での長年にわたる実務経験を有する教員が幼児の姿から掘り下げて保育展開していく事例等を基にグループディスカッションを取り入れながら、より具体的な実践力を学び合い

			指導力のある保育者を目指す。授業内容として終盤は数例の実践例から指導案作成を手掛けていく。
保育内容（子どもと環境）	本田 恵美子	1	幼稚園教育要領によると「子どもにとっての環境とは、好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うものである」と明記されている。この授業では、現役の認定こども園副園長が日々の勤務状況をリアルタイムで反映する演習形式とし、学生や子どもたちが環境に関わる中での出会いやさまざまな自然環境に直接触れる体験を積み重ねながら、五感を通して「どのようなことを感じ・どのように考え・味わうことができるか」等、学生自ら企画し、理解を深めていく。その中で、自然環境の活かし方・環境構成・保育者の援助について、四季を通した具体的実践例を基に、アクティブラーニングを取り入れながらその指導方法を学んでいく。
			合計単位数：8単位

授 業 科 目 名	美術		
担 当 者 名	都 留 守	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000002	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「対話による美術鑑賞」と「表現活動」を一体化した授業です。この演習では、公立学校教諭・北九州市教育委員会指導主事としての職務経験を有する教員が、公立学校での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。『見つめる感じる考える Watch Feel Think』の活動から生まれた各自の意見を交流し合うことで、芸術作品のテーマや作者の思いに迫り、自己の価値観を高め・深め・広げる鑑賞を行います。意見の交流を通して、自己の相対比や他者理解が促されます。学習者が発見し関心をもった課題を全員で考え、共同で知識を構成していく授業です。そして、鑑賞活動を通して得た感動や学びをもとに自由に自己表現します。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>「美術を通して豊かな感性をもつ人間形成」を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作品鑑賞を通して、見つめる力・感じる力・考える力を養う。</li> <li>2. 芸術作品と出会って、見つけた課題を自分の言葉で表現する力を養う。</li> <li>3. 他者の意見を受け入れ、自分の見方・感じ方・考え方を高め・深め・広げる。</li> <li>4. 鑑賞を通して得た感動や学びをもとに、自己表現をする力を養う。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション 色々な見方、感じ方、表し方に出会う。	事前：「色々な見方、感じ方」について調べる（90分） 事後：「色々な作品」を観た感想を「振り返り」にまとめる（90分）	
2	デューラーの作品「祈りの手」を鑑賞し、作品に込めた思いに触れ、鉛筆で「祈りの手」を描こう。	事前：「デューラー」について調べる（90分） 事後：「デューラー」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
3	古賀春江の作品「無題」を鑑賞し、思い付いたお話をもとに次の場面を想像して描こう。	事前：「古賀春江」について調べる（90分） 事後：「古賀春江」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
4	ゴッホが「ひまわり」に込めた思い・願いを受け止め、「私のひまわり」をオイルパステルで描こう。	事前：「ゴッホ」について調べる（90分） 事後：「ゴッホ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
5	マチスの作品「ジャズ」を鑑賞し、コラージュの技法で表現しよう。	事前：「マチス」について調べる（90分） 事後：「マチス」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
6	ドガの作品「マネとマネ夫人像」を鑑賞し、作品の切り取られた部分を想像してパステルで表現しよう。	事前：「ドガ」について調べる（90分） 事後：「ドガ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
7	田中敦子の作品を鑑賞し、丸と線で表現をしよう	事前：「田中敦子」について調べる（90分） 事後：「田中敦子」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	

8	白髪一雄の作品を鑑賞し、絵の具と紙粘土で表現しよう。	事前：「白髪一雄」について調べる（90分） 事後：「白髪一雄」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
9	糸園和三郎の作品「老婦と子ども」を鑑賞し、「過去・現在・未来」をモノトーンで表現しよう。	事前：「糸園和三郎」について調べる（90分） 事後：「糸園和三郎」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
10	一原有徳の作品を鑑賞し、モノプリントで表現しよう。	事前：「一原有徳」について調べる（90分） 事後：「一原有徳」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
11	ピカソの作品を鑑賞し、オイルパステルで「自画像」を表現しよう。	事前：「ピカソ」について調べる（90分） 事後：「ピカソ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
12	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する校外研修の事前研修を行い、研修計画をたてる。	事前：「北九州市立美術館」について調べる（90分） 事後：「北九州市立美術館」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
13	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する（校外研修）	事前：「企画展」について調べる（90分） 事後：「企画展」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
14	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する（校外研修）	事前：「企画展」について調べる（90分） 事後：「企画展」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
15	木下晋「103年の闘争3 2003」に描かれたものを感じ取ろう。「美術」のまとめと評価をしよう。	事前：「木下晋」について調べる（90分） 事後：「木下晋」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・毎時間の授業の「振り返り」と「作品の写真」をWebメールで送信する。
- ・「振り返り」は、毎時間の講義後に提出を求めます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業中の取り組み姿勢から「意欲・関心・態度」を評価する	Webメールで送信する「振り返り」から「発想・構想の能力」「鑑賞の能力」を評価する	毎時間製作する作品から「創造的な技能」を評価する	授業以外の自主的な活動を評価する
30%	40%	30%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しません		

#### 参考書又は参考資料等

- 1.『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』＝鑑賞学習資料：北九州市立美術館を活用した学習プログラム
- 2.『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』＝平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究（B）研究課題「対話による意味生成的な美術鑑賞教育の地域カリキュラム開発」報告書

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業で学んだ芸術家について、本学の図書館や北九州市立美術館などの美術館に各自で行って調べる。
  - ・授業中に疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったことを各自で研究する。
- ※授業後、鑑賞した作家や作品について自主的に調べたり、展覧会に行き鑑賞したりしたことをレポートで提出したものについては、重く評価する。
- ・Webメールで「振り返り」を毎時間提出します。
  - ・「作品鑑賞カード」「ワークシート」は、必要に応じて配布します。
  - ・「鑑賞資料」は、必要に応じて配布します。
  - ・画用紙などの材料は、基本的に本学の備品を共同で使用します。
  - ・作業がしやすい服装で参加してください。
  - ・絵の具セット、小道具セット（はさみ、のり、カッター、定規など）、硬筆材（サクラクレパス12色セット）を各自で用意すると授業に取り組みやすくなります。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	教育原理		
担 当 者 名	浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000014	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>今、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ保育者が求められている。そのため、保育者には、そのような教育実践ができる高い専門的力量とそれを支える豊かな人間性や確固とした教育理念が必要となる。そこで、教育原理の授業では、教育の意義や目的及び子ども家庭福祉等のかかわり、教育思想と歴史的変遷、基礎理論、教育制度、生涯学習の現状と課題を学ぶ。授業は、長年北九州市立小学校の校長を務め、地域での人権啓発活動に取り組んできた教員が、グループワークや発表、グループディスカッションなどを取り入れたT・T（チーム・ティーチング）授業を展開する。それにより教育について幅広い視野を養い、基礎的な知識を身に付け、考える力を育てることを目指す。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教育の意義や目的、教育と子ども家庭福祉について理解できる。</li> <li>2) 欧米の教育思想が、日本の幼児教育の分野に大きな影響を与えたことを理解できる。</li> <li>3) 教育が制度として、どのように運営されているかについて理解できる、</li> <li>4) 教育内容、方法、計画と評価のあり方について歴史的な経緯を踏まえ理解できる。</li> <li>5) 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション（科目内容、講義、評価等） 教育の意義	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
2	教育の目的	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
3	乳幼児期の教育の特性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
4	教育と子ども家庭福祉の関連性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
5	人間形成と家庭・地域社会	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
6	諸外国の教育思想	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
7	諸外国の教育の歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
8	日本の教育思想・歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
9	子ども観と教育観	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
10	教育制度の基本	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
11	教育の法律と行政	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	

12	諸外国の教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
13	教育実践の基礎	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
14	さまざまな教育実践	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
15	生涯学習社会における教育の現状と課題 教育原理のまとめ	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

授業の中で参考図書や文献を紹介しますので、積極的に読んでください。新聞等で最新の教育の動向を把握してください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み	
70%	20%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ2 教育原理	矢藤誠慈郎、北野幸子	中央法規

### 参考書又は参考資料等

文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

教育原理に取り上げる内容を十分理解し、保育者になる基礎的知識を身に付け、それを生かした保育実践ができるようになることを期待します。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	特別支援教育概論		
担 当 者 名	山田 幸代	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200076	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「発達障害」と診断された幼児・児童生徒のみならず、その疑いのある幼児・児童生徒は一般の保育現場および通常学級にもかなりの割合で在籍している。さらに「特別の支援」という概念を広げるならば、すべての幼児・児童生徒がそれぞれ「特別な支援を必要とする子どもたち」であると考えられる。本講は、臨床心理士として、特別支援教育の黎明期から特別支援学校や自閉・情緒の通級、固定級等で実務を担い、北九州市教育委員会における特別支援教育プログラムなどを策定してきた教員が、発達心理学、対人心理学、知能心理学の視点から、幼児・児童生徒の自己実現を支援する方法を講義および演習で学ぶことを目的とする。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援教育に関する制度や理念を理解している。</li> <li>2. 特別支援教育を要する幼児・児童生徒の発達・心理・行動特性を理解し、特性把握のための検査法を理解している。</li> <li>3. 特別支援教育に関する種々の視点から、その方法を理解し、例示することができる。</li> <li>4. 「生活単元学習」「自立活動学習」の教科課程上の位置づけと内容を理解している。</li> <li>5. 特別支援教育の対象となる幼児・児童生徒について他機関などとの連携を理解している。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1 「特別の支援を要する子どもたち」とは？ 事例提示による導入。	<p>事前：1の資料を通読しておくこと（45分） 事後：提示された事例について各自考察を深めること（45分）</p>		
2 生物学的存在の「ヒト」から社会的存在の「人」へ。 3つのきょういく「胸育」「共育」「教育」	<p>事前：1年前期の「障害児保育Ⅰ」のノートを通読しておくこと（45分） 事後：提示された3つのきょういくと提示されて事例について考察を深めること（45分）</p>		
3 心身の発達と3つのきょういく 阻害要因と支援のあり方（1）検査法概説	<p>事前：遠城寺式分析的乳幼児発達検査を通読しておくこと（45分） 事後：発達の大きな変化点について上記検査との関連を考察すること（45分）</p>		
4 心身の発達と3つのきょういく 阻害要因と支援のあり方（2）検査法との関連	<p>事前：テキスト『生きづらいと思ったら親子で発達障害でした』を通読しておくこと（45分） 事後：テキストと検査法および発達と虐待の関連について考察を深めること（45分）</p>		
5 特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ （1）知的障害（講義）	<p>事前：知的障害について各自検索しておくこと（45分） 事後：講義で示した新たな「知能」「知的障害」について考察を深めること（45分）</p>		
6 特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ （2）肢体不自由（講義）	<p>事前：肢体不自由について各自検索しておくこと。保育現場での支援の方法を考えておくこと（45分） 事後：講義内容について考察を深めること（45分）</p>		



7	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (3) 視覚・聴覚障害 (講義)	事前：視覚・聴覚障害について各自検索しておくこと。保育現場での支援の方法を考えておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
8	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (4) 発達障害ADHD (グループワーク、レポート作成)	事前：ADHDについて各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること (90分)
9	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (5) 発達障害ASD (グループワーク、レポート作成)	事前：ASDについて各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること (90分)
10	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (6) 発達障害DCD (グループワーク、レポート作成)	事前：DCD (発達性協調運動障害) について各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること
11	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (7) 精神疾患、若年性うつ、統合失調症 (講義)	事前：幼児・児童生徒、保護者の精神疾患について各自検索しておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
12	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (8) 家庭の問題・虐待について (講義)	事前：虐待について各自検索しておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
13	特別支援教育のプログラム作成 提示された事例について対応を考える (グループワーク)	事前：テキスト『生きづらいと思ったら親子で発達障害でした』を再読しておくこと (45分) 事後：グループで討議した内容の考察を深めること (45分)
14	特別支援教育のプログラム作成 提示された事例について対応を考える (全体討議)	事前：前回のグループ討議の内容を各自考察すること (45分) 事後：全体討議の内容の考察を深めること (45分)
15	受講者各自にとっての「特別支援教育とは何か」を考える (講義)	事前：講義、グループワークを通してノートを再読しておくこと (90分) 事後：各自ノートの再読と整理を行うこと (90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・可能な範囲で次回講義やグループワークの事前学習をしてください。また、やむを得ず欠席の場合 (病欠など) はノートを整備してください。
- ・なおレポート提出は翌週までとします。レポート作成にあたっては必ずグループ全員で討議し、作成者は交替してください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	グループワーク・レポート作成		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
適宜資料を配布する		

#### 参考書又は参考資料等

1. 北九州市立特別支援教育相談センター編「てをつなごうーお子様のすこやかな成長のためにー」
2. 文部科学省編「特別支援教育の現状と課題」(H27.4)
3. モンズースー「生きづらいと思ったら親子で発達障害でした」(KADOKAWA)

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

講義および演習(グループワーク)に真摯に臨むこと。人生の最初の6年間という最重要時期に遇う「人間」としての立場と方法を習得してください。とくに何かしらの障害(≡特性?)をもつ乳幼児に対して、また保護者に対しての支援者であることを明確に認識し、学習してください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他
	講義後、講義室にしばらく待機します。

授 業 科 目 名		保育指導論	
担 当 者 名		吉田 千津子	実 務 家 教 員
科 目 コ ー ド		2200015	授 業 形 態
学 年		2年	開 講 期
単 位 数		2	履 修
ナ ン バ リ ン グ		DP3-2-A	
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕		<p>指導とは幼児を好ましい方向に導く総合的な捉えや行為である。そのことは保育者の大きな役割であり、保育者自身の保育観・資質によって幼児の育ちが変わってくる側面をもつことを理解しておく必要がある。1年次で習得した教育方法とこの講義では、幼稚園や認定こども園での長年にわたる実務経験を有する教員が幼児の姿から掘り下げて保育展開していく事例等を基にグループディスカッションを取り入れながら、より具体的な実践力を学び合い指導力のある保育者を目指す。授業内容として終盤は数例の実践例から指導案作成を手掛けていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕		<p>1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本や各領域のねらい及び内容と具体的事例を基に指導力ある保育者としての姿や全体構造が理解できる。</p> <p>2) 幼児にとって、環境を通して行う保育がなぜ大切であるか理解する。</p> <p>3) 遊びをどのように捉え、援助していくか総合的指導の重要性について幼稚園における評価の考え方を理解できる。</p> <p>4) 幼児が経験し身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解できる。</p> <p>2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>1) 幼児理解や援助のあり方により、保育が変わることや幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>2) 幼児の自発性を尊重することと保育者の指導性の関係について理解を深めることができ、各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し保育の構想に活用することができる。</p> <p>3) 指導案の構成を理解し、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点が理解できる。また、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>	
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介 学習方法についての説明 幼児教育の歴史について（フレーベル）	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキストの内容を復習する。（90分）</p>	
2	環境を通して行う保育	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）</p>	
3	幼児教育・保育における遊び	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）</p>	

4	遊びによる総合的指導	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
5	主体的・対話的で深い学びと教育法	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。
6	幼児期の終わりまで育ってほしい姿と教育課程	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
7	幼児教育・保育における計画	事前：事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
8	指導案作成～子どもの姿から	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
9	指導案作成～年齢に応じた遊び①	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
10	指導案作成～年齢に応じた遊び②	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
11	指導案作成：具体的な子どもの姿を基に作成（情報処理）する。	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
12	指導案作成：添削部分を修正しながら、子ども理解、目標、保育内容、保育者の役割・援助、評価等について考える（情報処理）	事前：事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
13	模擬保育発表（1）：作成した指導案を基に小グループで模擬授業を行う。	事前：プレゼンテーションに向けてポイントを抑えて復習する（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
14	模擬保育発表（2）：小グループ内で各自の指導案を基に振り返り改善点・課題等考えながら模擬授業を行う。 *第8回から14回における振り返りを小グループ別のディベート及	事前：プレゼンテーションに向けてポイントを抑えて復習する（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
15	まとめと評価：指導案に沿った遊びをグループごとにまとめとして発表を行う。	事前：今までのプリント等を活用し、指導案を含め復習する（90分） 事後：振り返りで気付いた点をいかし、復習する。（90分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・テキストを通読し、重要な部分にマーカーを引いておくこと。プリントを見直し、復習すること。
- ・指導案作成時は添削をします。次の授業までに必ず仕上げしておくこと。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	振り返り記述完成度	授業での提出物	テキストの通読～マーカ必須
60%	10%	20%	10%

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『幼稚園教育要領解説〈平成30年3月〉』	文部科学省編	フレーベル館
「幼児教育・保育のための教育方法論」	垂見直樹、池田隆介編著	ミネルヴァ書房

### 参考書又は参考資料等

- ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術」大浦賢治、野津直樹 編著ミネルヴァ書房
  - ・文部科学省編『幼稚園教育要領解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・厚生労働省編『保育所保育指針解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・「遊びの指導」幼少年教育研究所編著（同文書院）
- （適宜資料を配布）

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・キーワードノートや振り返り・指導案作成は成績評価に反映する為、完成度を課します。
- ・何時でも自在にPC操作ができるようにUSBを持参しておくこと。
- ・提出物は期日までに提出すること。授業内容についての質問等が必要な学生には授業終了後及びオフィスアワーにて対応する。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	保育内容（子どもと環境）		
担 当 者 名	本田 恵美子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200041	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園教育要領によると「子どもにとっての環境とは、好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うものである」と明記されている。この授業では、現役認定こども園副園長が日々の勤務状況をリアルタイムで反映する演習形式とし、学生や子どもたちが環境に関わる中での出会いやさまざまな自然環境に直接触れる体験を積み重ねながら、五感を通して「どのようなことを感じ・どのように考え・味わうことができるか」等、学生自ら企画し、理解を深めていく。その中で、自然環境の活かし方・環境構成・保育者の援助について、四季を通じた具体的実践例を基に、アクティブラーニングを取り入れながらその指導方法を学んでいく。本演習は、保育園・幼稚園等でキャリアのある教員によるものである。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1.身近な環境が子どもの育ちにどのような意味を持つのか学び、環境の重要性を理解する。 2.保育環境への深い知識を養うと共に、子どもの豊かで、多様な経験を支えるために、具体的な活動の展開と視点や課題等についての理解を深め実践力を身につけることができるようになる。 3.さまざまな実践例を踏まえながら、保育現場での資質能力を図っていく。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	環境は子どもが学び育つための教科書 (人的環境・物的環境・自然環境・社会環境) …保育内容と子どもの学びや芽生えとの繋がりについて学ぶ	事前：シラバスを通読し、授業内容を知っておく。(45分) 事後：「子どもに必要な環境」についてまとめる。(45分)	
2	【春の自然物】 ・五感を使って春の自然を楽しむ ・生命や不思議との出会い (生き物の生態や植物の成長の様子)	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
3	【夏の自然物】 ・自然物を多角的な視点で多様に生かす ・身近な物(水や土・砂)に目を向けて好奇心や探究心を育てる	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
4	【秋の自然物】 ・秋の自然物を使っていろいろな遊びへの創造工夫	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
5	【冬の自然物】 ・季節の変化に気付き自然現象(雪・氷)に親しむ ・一つの活動を豊かに広げる展開の仕方	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	

6	【春～冬の自然現象】 音や風の力 太陽や雲の動き	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
7	【行事①】 正月・節分など（日本の伝統文化について）	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
8	【行事②】 運動会・発表会など	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
9	行事を通じて子どもの活動を展開させる方法 「SDGsの実践事例」（オンラインを活用して）	事前：配布された資料を通読し、指定した課題を調べておく。（45分） 事後：オンライン授業の内容をまとめ、アクティブのために予習しておく。（45分）
10	「SDGsの実践事例」（アクティブラーニング）を通じて幼児の姿や教師の援助を学ぶ（実践指導について） 1年生「教育方法論」との合同授業①	事前：活動のねらいや内容について幼稚園教育要領を基本に調べておく。（45分） 事後：アクティブラーニングの内容について情報機器を使ってまとめる。（45分）
11	「SDGsの実践事例」（アクティブラーニング）を通じて幼児の姿や教師の援助を学ぶ。（幼児期までに育ってほしい10の姿） 1年生「教育方法論」との合同授業②	事前：活動の中で育まれる10の姿について幼稚園教育要領を基本に調べておく。（45分） 事後：アクティブラーニングの内容について情報機器を使ってまとめる。（45分）
12	「SDGsの実践事例」の発表と評価Ⅰ 1年生「教育方法論」との合同授業③	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる。（45分）
13	「SDGsの実践事例」の発表と評価Ⅱ 1年生「教育方法論」との合同授業④	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる（45分）
14	発表と評価（発表評価を互いに伝え、今後の資質向上に繋げていく） 全体のまとめ（保育者としての資質・能力について） 1年生「教育方法論」との合同授業⑤	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる（45分）
15	「子どもと環境」を通じて学んだことの振り返り・まとめ	事前：1～14回までの内容を振り返り、ノートをまとめておく。（45分） 事後：15回を含めた講義内容を振り返り、自分の考えをまとめる。（45分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・地域の公園などに行き、秋の草花を観察する。（自己研修）
- ・身近な素材や自然物を活用して玩具を作り、感じたことをまとめる。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢・提出物等	「SDGsの実践事例」の取り組みや発表	
70%	20%	10%	
<b>使用テキスト</b>			
書籍名	著者	出版社	
幼稚園教育要領解説〈平成29年告示〉	文部科学省	フレーベル館	
<b>参考書又は参考資料等</b>			
1. 文部科学省編『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』フレーベル館			
2. 厚生労働省編『保育所保育指針〈平成29年告示〉』フレーベル館			
<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕			
・講義に意欲的に参加し、具体的事例を通して実践力を身につける。			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員E-mail	その他		
	講義終了後は、非常勤講師控室にて対応します。		